

2016 / 4.7 Thu. - 5.22 Sun.

火曜休館（ただし5/3は特別開館） / 入館無料

開館時間 / 10:00 ▶ 17:00（入館は16:30まで）

JAM 女子美アートミュージアム  女子美術大学
JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学 相模原キャンパス

Tel.042-778-6801 Fax.042-778-6815 HP.<http://www.joshibi.net/museum/>

主催 / 女子美術大学美術館 後援 / 相模原市、相模原市教育委員会

女子美の新星

NOVA 
IN 
JOSHIBI

榎本浩子 Hiroko ENOMOTO

中村花絵 Hanae NAKAMURA

古井彩夏 Ayaka FURUI

畠田奏子 Kanako HATAKEDA

奥村巴菜 Hana OKUMURA

/女子美の新星/

2016 / 4.7 Thu. - 5.22 Sun.

火曜休館 (ただし5/3は特別開館) / 入館無料

開館時間 / 10:00 ▶ 17:00 (入館は16:30まで)

女子美術大学は、1900年(明治33)の開校以来、6万人以上の卒業生を輩出してきました。

本展では本学の洋画専攻・洋画専攻版画コース・立体アート専攻・ヴィジュアルデザイン専攻・工芸専攻を卒業して間もない5名の若手アーティストの作品をご覧ください。

これら卒業生の多彩な作品群から、女子美術大学の教育活動の実りある軌跡をご紹介します。

榎本浩子

1986年群馬県生まれ。

2011年女子美術大学大学院美術研究科修士課程美術専攻洋画研究領域修了。

自身の家族や友人、身近な日々の出来事を主題に、ドローイング、テキスト、オブジェ、写真や映像で構成し、フィクションとドキュメンタリーが交錯する作品を制作している。個展「話したくないこと 英語の勉強 布団を干す」(シャトー2F、東京、2013)のほか、主な展覧会に「クウキのヨメナイ、ワタシたち」(CAPSULE/SUNDAY、東京、2014)、「群馬青年ビエンナーレ2015」(群馬県立近代美術館、群馬、2015)、「dreamers (ドリマーズ)」(blanClass、神奈川、2015)、「Optional Art Activity: summer school」(Take Ninagawa、東京、2015)など。現在、群馬県を拠点に作家活動を続ける。

中村花絵

1990年北海道生まれ。

2015年女子美術大学大学院美術研究科修士課程美術専攻版画研究領域修了。

日常のありふれた風景に、テレビモニターのドットのようなフィルターを掛けることで、時の流れとともに変容する風景を切り取って作品として定着させている。個展「中村花絵展」(Oギャラリー、東京、2015)のほか、主な展覧会に南島原市セミナー3日版展「'13'15入道、'16読売新聞西部本社賞」(ありえコレジヨホール、長崎、2013)、「全国大学版画展」('12'14収蔵賞)(町田市立国際版画美術館、東京、2014)、「日本版画協会版画展」('12A部門奨励賞、'15山口源新人賞)(東京都美術館、東京、2015)、「日本版画協会第83回受賞者展」(シロク画廊、東京、2016)など。

現在、女子美術大学芸術学部美術学科洋画専攻版画コース専任助手。

古井彩夏

東京都生まれ。

2013年女子美術大学大学院美術研究科修士課程美術専攻立体芸術研究領域修了。

鉄を用い、幾何学的なモチーフを反復させることにより表情豊かな彫刻作品を制作。2012年より毎年、ギャラリーなつか(東京)にて個展。主な展覧会に「第47回神奈川県美術展」(神奈川県民ホールギャラリー、神奈川、2011)、「第21回金沢現代彫刻展」(金沢市庁舎、石川、2011)、「六本木画廊セレクション「田原追草 × 勤柄大気 × 古井彩夏三人展 - 追草のフォルム -」(六本木画廊、東京、2013)、「Steel and Women」(いりや画廊、東京、2014)など。

現在、沖縄県立芸術大学非常勤講師。

畠田奏子

1989年生まれ、福岡県育ち。

2013年女子美術大学芸術学部デザイン学科ヴィジュアルデザインコース卒業。

からだをつかうこと・呼吸・土地をテーマに制作。主な個展に「軌跡が文字になる」(グリルギャラリー、東京、2013)、「郊外」(グリルギャラリー、東京、2014)など。

現在、東京都を拠点に作家活動を続ける。

奥村巴菜

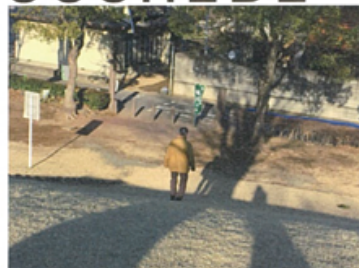
1989年東京都生まれ。

2013年女子美術大学大学院美術研究科修士課程美術専攻工芸(陶)研究領域修了。

実在の虫を観察し、今後発見されるかもしれない空想の虫を陶や銀で制作。個展「陶虫集合! 奥村巴菜展」(ART.IN.GALLERY、東京、2012)、「奥村巴菜 陶虫展」(ギャラリーオカベ、東京、2013)、「奥村巴菜 - 新種! 陶虫展 -」(gallery×cafe Jalona、東京、2014)のほか、博物館や科学館・昆虫館の企画展に「キョロロ大昆虫展 - キョロロにアート × 昆虫が大集合! -」(十日町市立山里科学館 森の学校キョロロ、新潟、2013)、「ソウムシの世界 - 美と多様性 - 展」(九州大学総合研究博物館、福岡、2013)、「むしの学校」(アクアマリンふくしま、福島、2014)など。

現在、千葉県を拠点に作家活動を続ける。

NOVA IN JOSHIBI



榎本浩子 (あたらしい朝がきた)
2016年 映像、ミクストメディア



畠田奏子 (車) 2013年 映像



奥村巴菜 (トウロウツノゼミ) 2014年 手びねり/陶土、銀

すべて作家蔵/掲載画像の一部はイメージであり、実際の展覧作品と異なる場合があります。



中村花絵 (BLEACHING03)
2015年 シルクスクリーン



古井彩夏 (Clothes)
2014年 鉄
撮影: 武田一敏

出品作家によるギャラリートーク

4月9日(土) 15:30 ▶ 17:00

出品作家に自作についてお話いただけます。

申込: 不要 / ロビーにお集まりください

参加費: 無料



展覧会特設サイト



交通案内

- ①小田急線相模大野駅北口3番バス乗場「女子美術大学」行き 乗車約20分
※平日・土曜日の午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール前4番バス乗場より乗車
- ②JR横浜線古淵駅2番バス乗場「女子美術大学」行き 乗車約15分
- ◎車でご来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください

JAM 女子美アートミュージアム 女子美術大学

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学 相模原キャンパス
Tel.042-778-6801/Fax.042-778-6815/HP.http://www.joshibi.net/museum/
主催/女子美術大学美術館 後援/相模原市、相模原市教育委員会